

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 6日 更新

事務事業名		九州中央地域連携推進協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	辻賢一郎
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	まちづくり戦略室	担当者名	後藤章博
	基本事業	84	広聴・広報機能の充実			所属班	戦略秘書班	(内線)	1212
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11530	法令根拠	九州中央地域連携推進協議会規約	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	九州中央地域(熊本・大分・宮崎県)の自立的で多様性に富んだ地域社会の実現に向けて、市町村の連携強化と交流拡大による広域的で一体的な交流圏の構築、地域特性を活かした一体的な振興整備を行うことを目的に平成9年8月1日に組織された「九州中央地域連携推進協議会=通称:九州中央77」に参画している。本協議会は、当初77市町村で発足、構成市町村の連携強化と交流拡大事業の推進に取り組み、定着してきたところであるが、市町村合併の進展により現在は、36市町村での構成となっている。〔熊本県:熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の19市町村〕、〔大分県:大分市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市の7市〕、〔宮崎県:延岡市、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の9市町村〕、及び推進協議会の趣旨に賛同する機関から顧問・参与(総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本郵政公社、各県など)が参加している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・総会及び講演会、地域づくりに関する交流研修会、会議へ参加する。・推進協議会が取り組む事業として、「九州中央77スタンプラリー」事業があり、市の物産・主要施設を紹介、来訪を促進する。・構成市町村は、スタンプラリーのスタンプ設置箇所の選定、承諾確認、スタンプラリー用品の配置、特産品当選者への賞品発送(各市町村2名分ずつ分担)を行う。
【主な予算費目】	需用費(九州77スタンプラリーリーフレット代)、負担金補助及び交付金(市町村負担金)
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・総会、交流研修会、会議への参加・スタンプラリーへの参画(スタンプ設置場所:2箇所)		平成22年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 総会、交流研修会、会議回数	回	企画課からの所属換えによるものであり、事業内容等の変更はない
イ スタンプラリーの設置数	箇所	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・スタンプラリー参加者		→ ア スタンプラリー応募総数
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・合志市(ユウパレス弁天、きくちのまんま)に来訪してもらう。		→ ア 合志市のスタンプを押した応募件数
		イ

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
① 活動指標	ア 回	2	2	2	2	2	2	0	0	
	イ 箇所	2	2	2	2	2	2	0	0	
② 対象指標	ア 件	2,245	2,000	3,000	1,486	2,000	0	0	0	
	イ									
③ 成果指標	ア 件	139	30	130	46	130	0	0	0	
	イ									
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	130	130	130	130	0	0	
	(A) 事業費計	千円	130	130	0	130	130	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	30	30	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	0	0
	延べ業務時間	時間	78	78	78	25	78	0	0	
	(B)人件費計	千円	312	310	310	103	321	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	442	440	310	233	451	0	0	

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	-------------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部 (SEE) *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段（道路）を求める声が盛り上がる可能性もある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現時点では、この参画事業以外に、県境を越えた市町村の広域な連携体制はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 この参画事業による構成市町村の経費負担は、市町村合併によって若干減少しているが、連携協議会の事業活動を行ううえでは必要なものである。協議会への参加等に伴う職員の旅費も削減されており、これ以上の削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現状も職員2名で、協議会の事業活動に応じて機動的に対応しており、これ以上の削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平な情報提供を行っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政の仕事である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						